



むさしむらやま



編集・発行 / 武蔵村山市教育委員会 〒208-8501 武蔵村山市本町1-1-1 TEL 042-565-1111 ◆問合せ先◆教育総務課 市役所内線424

第一中学校吹奏楽部 東日本学校吹奏楽大会出場



第一中学校吹奏楽部は、現在、1年生9名、2年生7名、3年生5名の計21名で活動しています。

今年度、第63回東京都吹奏楽コンクール東日本部門で金賞を受賞し、東京都の代表5校のうちの1校として、10月7日(土)に開催された第23回東日本学校吹奏楽大会に出場しました。

本校の吹奏楽部にとって初となる大会出場でしたが、銀賞を受賞することができました。大会後も、金賞を受賞するという新たな目標に向かって練習に励んでいます。

多くの応援やご支援ありがとうございました。

第12回 小中学生百人一首大会



10月29日(日)に総合体育館で第12回小中学生百人一首大会が開催され、小学生の部27人(源平戦)、中学生の部4人(個人戦)による熱戦が繰り広げられました。

優勝【小学生の部】大南学園七小Aチーム
【中学生の部】渡邊 水織さん

主催：武蔵村山市教育委員会
協力：一般社団法人全日本かるた協会・
教育を支援する市民の会

『夢や目標をもち、未来に挑戦する子供たち』

新年あけましておめでとございます。皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

学校教育の役割は、子供たちに基礎・基本となる学力をしっかり付けさせ、自ら学ぶ姿勢を身に付けさせるとともに、多くの人のかかわりの中で、社会を生き抜く力、豊かな心を育むことです。

学校に行つて学ぶ喜びがあり、共に活動する楽しさがあることです。そして、自分がこう生きていきたい、こうなりたいと夢が描けることです。

子供たちを取り巻く環境は大きく変化し、いじめや少年による事件、そして、夢がもてない子供たちなど問題にされていますが、私自身を含め、大人たちはどうなのでしょう。大人が夢をもたず、生き生きと生活しない、子供にだけ夢をもつと言っても駄目だと思います。子供の問題は大人の問題です。大人がしっかりと生きて輝くことだと思います。

大人が子供たちに人生を語ろう。生き生きとして夢に向かって頑張っている姿を見せよう。自分がワクワクして生きないと、自分が輝かないと、そして、自分が開拓者にならないと子供たちに何が言えるだろう。新しい年の初めに、自ら輝く生き方をしなければと強く思っています。本年もどうぞよろしく願っています。

武蔵村山市教育長 池谷 光二



教育長職務代理者 大野 順布



新春のお慶びを申し上げます。皆様には、久しぶりに行

動制限のないお正月を楽しんでいらっしゃることを存じます。新年早々の20歳を祝う会も、今年一堂に会しての開催となります。穏やかな日々と当たり前の日常を過ごせることに感謝しつつ、微力ではございますが、本年も教育環境の充実に努めてまいります。

教育委員 杉原 栄子



新春のお慶びを申し上げます。本市では、モノレール延

伸の実現に向けた息吹を感じられる今日この頃となりました。時を同じくして子供たちが取り組んでいる「まちづくり学習」では、子供の視点から考えた地域への愛着あふれる魅力的なアイデアに驚く程です。未来を担う子供たちが主体的に学び続ける一年となりますように地域の皆様と共に見守ってまいります。

武蔵村山市の子供たちのために ～教育委員の抱負～

教育委員 比留間 雅和



新年のお慶びを申し上げます。約3年に及ぶ行

動制限が解除され、かつての日常を取り戻しつつありますが、その間には社会の仕組みが変化したとすることも多くあります。教育においても、その時々状況に応じ合理的かつ柔軟に物事を捉え、周りの大人たちは子供たちの成長を第一に考えていくべきと改めて思う次第であります。

教育委員 潮 美和



新春のお慶びを申し上げます。本市は「1人1

台タブレット端末」の導入から3年が経ちました。昨年、小学校を訪問した際には、子供たちのタイピングの速さに驚いたと同時に時代の変化を感じる瞬間でもありました。ICT機器の活用がこれからのような学びに繋がるのかを楽しみに、子供たちの未来に期待をしております。

小学校登下校路の合同点検を実施しました

児童の通学の安全を図るため、7月から8月にかけて、小学校が抽出した危険な28箇所について、学校、PTA、東大和警察署、市の関係機関等で現地確認をするとともに対策案を検討しました。



現地確認のようす

今後とも、東大和警察署及び道路管理者等から技術的な助言等をいただきながら通学路のより一層の安全対策を図ります。

こんな場所を点検しています

- 見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所、大型車の進入が多い箇所
- 過去に事故に至らなくてもヒヤリハット事例があった箇所
- 保護者、見守り活動者、地域住民等から市への改善要請があった箇所など

伸びゆく子供展を

開催しました

11月7日(火)～10日(金)、市役所1階ロビーにおいて、市内小・中学校の特別支援学級及び都立村山特別支援学校に通う子供たちが一生懸命作った絵画や工作などの展示を行いました。



ゼロカーボンシティ
チャレンジ校の取組
〜雷塚小学校〜



6年生は、国語単元「私たちにできること」の学習で、ゼロカーボンについて学びました。話し合いの中で子供たちからは、「ゴミを減らすためにフリーマーケットをしたい。」という声が上がりました。そこで、みんなでフリーマーケットの計画、準備を行いました。

そして、10月の学校公開日にフリーマーケットを開催しました。多くの保護者、児童、地域の方々に来ていただき、大盛況で終わることができました。

子供たちは、「こんなにたくさんお客さんが来るとは思わなかった。」「少しでも環境をよくできる取組ができてよかった。」など、達成感に満ちあふれていました。



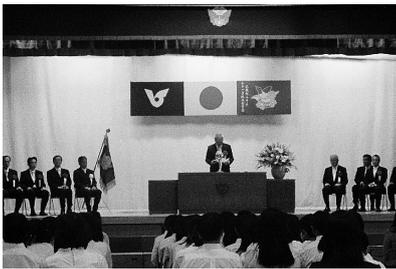
開校50周年記念式典
〜大南学園第七小学校〜



本校は、今年度開校50周年を迎えました。昭和48年に「武蔵村山市立第七小学校」として開校し、平成28年には、「小中一貫校大南学園」として歩んで参りました。このような長い歴史の中、50周年という節目の年を迎え、記念に残る行事などを計画することで、児童や保護者、地域の皆様と共に、新たな歩みへの1年を過ごしてまいりました。

11月22日(水)には、武蔵村山市長はじめ、市議会議員長、教育長、歴代校長、地域関係者など、多くのご来賓の皆様にご臨席いただき、「五十周年記念式典」を実施いたしました。式典には、在校生を代表して6年生が参列しました。

厳肅な空間の中、来賓の皆様より祝辞をいただき、児童は、あらためて開校50年の歩みの尊さを実感したことと思います。



この式典に合わせ、武蔵村山市より、「五十周年記念誌」、学区域や全校児童の写真を載せた「下敷き」「クリアファイル」が、全児童に記念品

として贈られました。

また、本校PTAより、左記の二点を寄贈していただきました。

- 記念植樹(桜の木 二本)
- 記念整備事業費

(学級農園の整備改良費用)

こちらの事業におきましては、地域企業の多大なるご尽力をいただきましたこと、あらためて感謝申し上げます。

小中一貫教育の日
一 中校区研究会
〜第一中学校〜



10月11日(水)に第2回一中校区研究会が実施されました。

今回の研究会は第一中学校の全学級が授業公開を行い、第一小学校と第九小学校の教員が参観しました。小学校時代にお世話になった先生方が大勢参観しているので、どの学年の生徒もどことなく嬉しそうな様子が印象的でした。

授業参観後は、各部会に分かれて本日の授業に関する質疑応答や情報交換を行いました。特別支援学級の分科会では、本で行った「ハードル走」の学習について話し合わせ、参観者から「トレーニング用の低いハードルではなく、本物のハードルを使ってほしかった。」「小学校の学習ではハードルを使っています。」といった声が聞かれました。確かに

小学校で経験しているのなら中学校でもできるはずですが、ハードルを用いて授業を行うと生徒は怖がってしまうのです。どこに原因があるのか様々な面から調べたところ、小学校で使用しているハードルを一番高くしたものが、中学校のハードルの一番低い高さと同じであることが分かりました。この学びを生かして、小学校の教員は、中学校のハードルの高さを目標に指導を行い、中学校の教員は生徒の学習経験を踏まえた指導を行うことで、より円滑な指導が実現すると感じました。

このように、小中合同の研究会は、小学校、中学校の教員がそれぞれ当たり前だと思っていることも、実は違うということに気付かされるよい機会となっています。今後も小中の連携を深めて子供の成長を支えていきます。



の取組を紹介します

設隣接型、施設分離型による
ている全国でも稀有な特長をもっています。
な高め合いのもと、教育活動が展開されています。
かし様々な取組を行っています。
づくりの取組を紹介します。

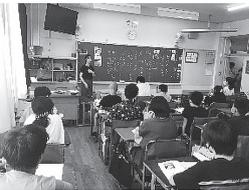
第十小学校 校長 中村 清敬

五中校区の学校として、生徒会サミットや職場体験など様々な交流を行っています。また、市の自然や農業、ショッピングモールなどと連携した「まちづくり学習」も、毎年アップグレードしています。6年間の学びを通して、地域に誇りや愛着をもつことを目指しています。



雷塚小学校 校長 高瀬 隆太郎

「人を大切にする学校」の学校経営方針のもと、本校では人権教育の充実に向けた取組を推進しています。「自分も人も大切にする」という目標を達成するための取組を全教育活動を通して実践しています。また、人権課題に関する指導を通して偏見や差別を許さない心を育てる取組も行っています。



大南学園第七小学校 校長 川口 周作

まちづくり学習の一環として、4年生では『福祉活動』への理解を深める学習を行っています。今年度は、市の社会福祉協議会の協力を得て、様々な福祉体験活動を実施しました。車椅子体験、高齢者体験、様々なユニバーサルデザインの道具などに触れる体験をしました。



第一中学校 校長 島田 治

「学校2020レガシー」の構築及び体力向上の推進を目標の一つに掲げ、オリパラ教育の成果を生かし、保健体育科を中心に充実を図っています。令和4年度よりアテネ五輪の金メダリストの塚原直也氏を講師に招き、継続的に器械運動の指導を受ける機会を設けています。



第三中学校 校長 飯星 健司

各学年で「ゼロ・カーボンチャレンジ」と称して、様々な取組を実施しています。2年生の校外学習では、都内でのゼロカーボンの取組を調べました。また3年生は、「脱炭素まちづくりカレッジ」を受講して、二酸化炭素を減らす取組の疑似体験をしました。



第五中学校 校長 榎戸 千代子

本校の生徒会と校区小学校の二小・八小・十小の児童会、武蔵村山高校生徒会が集まり、本校で「五中サミット」を開催しています。毎年、いじめ防止に向けた各校の取組と「いじめ防止標語」を発表し合います。五中校区の小中高が一体となっていじめ防止の取組を推進しています。



大南学園第四中学校 校長 清水 実

本校では、道徳授業を全教員で行う「ローテーション道徳」を行っています。教室では担任以外の教員も交代で教壇に立ち、様々な見方・考え方を示すことで、生徒が多面的・多角的に考え議論する道徳授業を推進しています。



第一小学校 校長 押本 純樹

「みんなで遊べて、歌えて、話し合える学校」を目指しています。児童も教員も和気あいあいとして過ごしている温かい雰囲気が、テレビ番組でも紹介されました。取材には全く緊張せず、思いのままに自己表現する児童の姿があり、うれしかったです。ヤギのココアやハッピー、ウサギのプリンもみんなの仲間です。



特色ある学校づくり

市立学校では、施設一体型、施
いわゆる小中一貫教育の3つの型を展開し
各校区がそれぞれの特長を生かし、強い連携と豊か
また、各校、それぞれの特長を生
今年度各校が行った特色ある学校

第二小学校 校長 井口 洋

総合的な学習の時間の中で、まちづくり学習を進めています。地域の皆様のご協力のもと、みかん農園見学、村山大島紬体験、菊づくり体験、水田学習、お囃子体験等に取り組み、地域に伝わる伝統・文化のよさを児童自らが気付き、発信していく学習を進めています。地域とのかかわりの中で、自尊感情を育てています。



第八小学校 校長 牧 一彦

今年度より期末テストを実施し、算数科で誰一人取り残さない授業づくりについて研究を行っています。確かな学力の定着と、個別最適な学びを実現する学校づくりを、特色の一つとして取り組んでいます。特別支援教室（伸び伸び教室）では、拠点校として五中校区に理解教育を広げ、子供たち個々の課題に向き合いながら、社会性を育てています。



第三小学校 校長 佐々木 琢

本校は「ゼロカーボンシティチャレンジ校」として、様々な取組をしています。

6年生はこれまでの学習の発表会とフリーマーケットをイオンモールむさし村山で、開催しました。2日間の開催で282名のお客様が訪れ、計1153点の品物を販売しました。



第九小学校 校長 吉成 かおる

本校では、地域との関わりや人とのつながりを通して、武蔵村山市のよいところを調べたり、様々な体験をしたりしながら、よりよいまちづくりについて考える学習をしています。



将来、役割と責任をもって地域社会に貢献しようとする子供を育てていきます。

村山学園 統括校長 井内 潔

「部活動」と言えば、中学生が取り組む活動と思われがちですが、村山学園では小学部6年生から参加できます。9月に6年生に向けて部活動説明会を行い、6年生は興味のある部に入部することができます。現在、各部活動で6年生が中学生と一緒に活動をしています。



吹奏楽部に入部した6年生は、10月に行われた合唱コンクールで演奏し、練習の成果を発表しました。4月からは中学生として、本格的に部活動に参加します。中学校に向け、3学期、ますます部活動に力が入ります。



「伝統再建！8P祭り」

〜第八小学校〜



8P祭り（ハッピー祭り）が、10月6日（金）に開催されました。この8P祭りは、PTA主催の一大イベントで、新型コロナウイルス感染症流行前より、脈々と引き継がれてきた八小伝統の行事です。

再開に当たっては、例年踏襲ではなく、今の学校や地域に合わせた新たな形を模索して企画され、大盛況となりました。八小の子供たちの笑顔があふれる一日となりました。



学区域にあるみかん園で
みかん狩りを行いました

〜第三小学校〜



さわやかな秋晴れのもと、10月28日（土）に、青少対第三地区委員会主催のみかん狩りを実施しました。

昨年度までの青少対主催行事は、例年球技大会を行っていましたが、参加者数がやや低迷する傾向にありました。そこで今年度、全校にアンケートを取ったところ、みかん狩りをやってみたいという意見が多く寄せられました。そこで、本校学区域にある小林農園にご協力をいただき、みかん狩りを実施することにしました。



みかんを収穫する子供たち

当日は、80名以上の子供たちが参加しました。学校を集合・解散場所とし、徒歩で小林農園に向かいました。みかん園の方から説明を聞いた

後、早速狭山丘陵の南斜面にある広大なみかん畑でみかん狩りを行いました。子供たちは、思い思いに園内を歩き、おいしそうなみかんを木から取って食べました。食べ放題なので、お腹がいっぱいになるまでみかんを食べていました。また、持ち帰り用のみかんを収穫する子もたくさんいました。子供たちは、たくさんのみかんを収穫できてとても嬉しそうでした。また、来年も行きたいとつぶやく子供がたくさんいました。

今回のみかん狩りの実施にあたっては、青少対の役員の方々はじめ、PTAや地域の方々のご協力のおかげで実現しました。感謝申し上げます。

車いすバスケット

ボール体験
〜第十小学校〜



東京都教育委員会の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として、10月18日（水）に、車いすバスケットボール選手の上土大輔（つちこだいすけ）さんが来校されました。土子選手は、2016年リオデジャネイロパラリンピック日本代表で活躍された方です。



「心のバリアフリー化宣言！車いすスポーツ体験」にのぞむ4～6年生

ウォーミングアップでは、車いすのスピードとテクニクを披露してください。児童はそれに少しでも追いつこうと、練習をしていました。終盤には、児童が試合にチャレンジできる場面もあり、車いすとボールの操作に悪戦苦闘しながらも、スポーツの楽しさを純粋に味わっていました。

この体験を通して、真のバリアフリーについて学ぶとともに、障害の有無に関わらず、スポーツを楽しむことも体感しました。多様性の社会を生きていくための、貴重な経験になりました。



下級生の安全を守りながら

第九小学校が開校したときから50年以上も続いている活動に、全校のたてわり班で行く校外学習があります。これは、九小が大切にしている伝統行事です。

今年度は10月末に野山北公園まで出かけました。この行事は例年、事前の準備から当日の活動まで、6年生が中心となって全校児童をまとめます。今年も、最上級生として集団の中で自分の役割と責任を果たしながら活躍する6年生を見ることができました。

このたてわり班活動のおかげで、本校では学年が違っていても、子供たち同士はお互いの顔や名前をよく知っています。休み時間、校庭で低学年が言い合いになると、高学年の誰かが駆け寄り、双方から話を聞いて仲裁している様子を見かけます。誰かが転んで倒れていると、すぐに

**全校で行く校外学習
人とつながり、子供が育つ
たてわり班活動**
〜第九小学校〜



公園でのアスレチック

その周りに子供が集まり、転んだ子供に怪我がないか声を掛けたり、教員に知らせたりと役割分担をして助ける姿もあります。そして、今は上級生に助けってもらうことが多い1年生も、上級生と関わりながら様々なことを学び、高学年になる頃には班全体や下級生のことを考えられるリーダーとして育っていきます。

「大人が育てる」だけでなく、「子供同士で育つ」という発想を大切に、今後もこの活動を継続してまいります。

**おいしくできたよ
村山かてうどん**
〜村山学園〜



9月27日(水)に小学部3年生が「村山かてうどんの会」のご協力をいただき、村山かてうどん作り体験を行いました。この体験は、「まちづくり学習」の一環として実施し、地域の伝統・文化を知ること、さらに地域に対する愛着を深めることをねらいとしました。

うどんを日頃からよく食べている

児童が多いですが、自分で作るのは多くの児童が初めてです。初めは、緊張気味に活動していましたが、慣れてくるにつれ、生地の柔らかく、気持ちの良い感触を楽しんでいました。

また、村山かてうどんの歴史、麺やつけ汁の特徴などの魅力についても講師の方々に教えていただきました。

体験後には、一人一人が村山かてうどんのキャッチコピーを考えました。

一度食べたならわすれられない
村山かてうどん
愛情たくさんの村山かてうどん など

今回の学習を通して、子供たちは、武蔵村山市が誇る伝統文化について、五感を使いながら理解を深めることができました。村山学園では、今後もまちづくり学習の中で、武蔵村山市の良さや魅力を発見していけるよう取り組んでいきます。



**小中連携百人一首クラブ
〜大南学園第四中学校〜**



本校では、七小生・四中生の希望者が集まって小中合同の「百人一首クラブ」を行っています。

毎週火曜日の放課後に武道場で、カルタの魅力にとらわれた小中学生が、七小の先生の指導の下、熱心に腕を磨いています。



畳の上に札を並べ、向かい合って対戦します。相手は小学生同士だったり、小学生対中学生だったり、そのときによって組み合わせが変わります。先生の読み上げる上の句を聞いて札を探し、札をとるときの「はいっ」という声が武道場中に響きます。

こうして練習した成果は、市の百人一首大会で上位入賞を果たすなど、結果として表れています。

百人一首は国語の授業でも扱います。日本の伝統・文化の一つとして、受け継いでいってほしいですね。



スポーツ都市宣言記念事業
「いきいきわくわくスポーツ教室」
を開催しました

市民の健康増進、体力向上等スポーツの推進を図ることを目的に、スポーツの基本である「走る」「投げる」をテーマにした陸上教室を10月1日(日)に総合体育館第一体育室で開催しました。

講師には、国際陸上競技連盟公認指導者資格を有する井原 直樹氏、2014年円盤投げ日本選手権第3位の宮内 優氏をお迎えしました。当日は、雨天のため室内の開催となりましたが、多くの市民の方々にご参加をいただきました。

区分	男子の部
優勝	一小 7分!?
準優勝	十小 ベーベース
第三位	三小 小林サッカー協会
	三小 クリキントンズ3
区分	女子の部
優勝	十小 ガールズ
準優勝	八小 GOGO ガールズ
第三位	雷塚 バンビーノ
	十小 やる気でがんばる

第40回少年少女
サッカー大会を開催!

11月18日(土)に総合運動公園第1・2運動場で第40回少年少女サッカー大会が開催され、市内の各小学校から集まった4年生から6年生までの男女全22チームが熱戦を繰り広げました。

試合は、男子の部18チーム・予選リーグ、決勝トーナメント戦、女子の部4チーム・リーグ戦により行われ、男子の部は「一小 7分!」、女子の部は「十小 ガールズ」が優勝しました。

各部門の入賞チームは表のとおりです。



第50回市民駅伝競走大会
全94チームが力走!

12月10日(日)に市民駅伝競走大会が、総合体育館前をスタート・ゴールとする14・75km、6区間のコースで開催されました。

第50回目の開催となる今大会も姉妹都市である長野県栄村からの1チームを含む特別参加が6チーム、一般の部45チーム、地域の部9チーム、女子の部5チーム、中学生男子の部10チーム、中学生女子の部8

【各部門優勝チーム】

部門	チーム名	タイム
一般の部	村山ジョニーズ	46分15秒
地域の部	峰自治会A	56分37秒
女子の部	感染研女子B	1時間14分09秒
中学生男子の部	武蔵村山第五中学A	56分18秒
中学生女子の部	武蔵村山第五中学	1時間08分39秒
小学生男子の部	ミニバス翼A	55分24秒

※小学生女子の部はエントリーなし

チーム、小学生男子の部11チームが参加し、大勢のランナーが俊足を競いあい、襷を繋ぎました。今回は4年振りに青梅街道を走るコースでの開催となりました。沿道からたくさんの方の声援を受けたランナー達は元気な走りを見せ、盛況のうちを終りました。各部門の優勝チーム及びタイムは表のとおりです。

(市HP: 1010008)

令和6年

「20歳を祝う会」お知らせ

式典(代表者の誓いの言葉など)とアトラクションの2部構成で行います。一生に一度しか参加できないイベントに、ぜひご参加ください。

【日時】 1月8日(月・祝) 午前11時〜午後0時30分(受付前10時30分)

【場所】 さくらホール(市民会館)大ホール

【対象】 平成15年4月2日から平成16年4月1日に生まれた市内在住のかた等

※ 対象者のかたには、12月上旬にご案内のがきをお送りしております。

(市HP:1005869)

第26回生涯学習フェス

ティバルを開催します!

市内には、いろいろな物作りを楽しみ、学んでいる方々がたくさんいます。

そんな方々のご指導のもと、物作りや体験学習を行なってみませんか?

楽しいイベントや、おいしい食べ物をご用意して、皆様のご来場をお

待ちしております。

【日時】 令和6年3月3日(日) 午前10時〜午後3時

【場所】 さくらホール(市民会館) 市役所市民駐車場

【内容】 体験コーナー・ワークショップ、飲食模擬店、舞台出演(小ホール)

※ 1月末日まで、ボランティアを募集しています。詳しくは、お問い合わせください

(市HP:1015207)

〈問合せ〉文化振興課生涯学習係

☎042-565-1111

(内線652・653)

第36回

多摩郷土誌フェア開催

多摩地域22市町の郷土の歴史や文化財、自然等の書籍を一堂に集め、展示販売します。

各市町の書籍をまとめて購入できる貴重な機会です。ぜひご来場ください。

【日時】 1月20日(土)

午前10時〜午後5時

1月21日(日)

午前10時〜午後3時

【会場】 立川市女性総合センターアイム1階ギャラリー(立川市曙町2-36-2)

【主催】 東京都社会教育課長会文化財部会

※ 会場には専用の駐車場はありません。隣接する有料駐車場をご利用ください。

◆新刊図書のご案内

歴史民俗資料館では特別展「武蔵村山の遺跡」を3月20日(水・祝)まで開催しています。

特別展解説書である『武蔵村山の遺跡』では、写真や図を多用し、旧石器時代から古代といわれる奈良・平安時代あたりまでの遺跡や出土品、発掘調査の結果などを紹介しています。

(フルカラー、60ページ、頒布予定)

令和5年度特別展解説書

武蔵村山の遺跡



武蔵村山市立歴史民俗資料館

〈問合せ〉歴史民俗資料館

☎042-560-6620

辰(たつ)年におすすりめ!

辰・龍・たつ・タツの本

『りゅうおうさまのたからもの』(イチノロブ・ガンバードル 文) 『バーサンスレン・ポルルマー 絵』 津田紀子 訳 福音館書店

「けっして ふたを あけてはならぬぞ」りゅうおうさまの娘を助けたお礼に「みずのもと」が入った宝箱をもらった弟。ところが、話を聞いた兄が、こっそりふたをあけてしまい…。美しい絵でなぞときも楽しめる、モンゴルのお話です。

『ドラゴンにごようじん』(茂市久美子 作 とよたかずひこ 絵 国土社)

子ぎつねのきいくんは、おじいさんからふしぎなマツチ箱をもらいました。おまじないをつぶやいてマツチ箱を開けると中から何が出てきたのでしょうか。

〜そのほか おすすりめの本〜

- 「赤い目のドラゴン」(若波書店)
- 「99ひきのりゅう」(福武書店)
- 「ほしになつたりゅうのきば」(福音館書店)
- 「エルマーとりゅう」(福音館書店) など

〈問合せ〉雷塚図書館

☎042-564-1284



第22回 「ちゅうでん教育大賞」 受賞

第十小学校の今井一馬副校長等3名の教員が、「まちづくり学習」として取り組んできた実践を教育論文としてまとめ「ちゅうでん教育大賞」に応募したところ、最高賞となる教育大賞を受賞しました。

【研究題目】

「食品ロス」問題を入り口とした「まちづくり学習」への挑戦～公立学校の6年生が地域の産・官・学をつなぐ～

【選考総評】（一部抜粋）

規格外野菜の販売に加え、フードドライブの取り組みにも挑戦し、広報活動の重要性を国語の話し合い活動の機会を設定できた点もこの実践が広がりをもたせた背景であろう。ショッピングモール内の店舗へのインタビューやデジタルで取材の成果ポスターを作成した点も小学生としては素晴らしい。食品ロス問題を入り口として「まちづくり学習」にまで高めた点で全国のモデルともなる実践と言えよう。



右より、久保田萌海教諭、今井一馬副校長、比留間雄大教諭（現・三鷹市立第一小学校）

※「ちゅうでん教育大賞」は、公益財団法人ちゅうでん教育振興財団の教育振興助成事業です。

教育長・教育委員の動き（10月～12月）

- 10月 1日（日） 令和5年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業いきいきわくわくスポーツ教室 開会式・閉会式
- 10月 6日（金） 東京都町村教育委員会連合会第1回研修会
- 10月 8日（日） 第18回地区ふれあいスポレク大会
- 10月11日（水） 小中一貫教育の日
- 10月23日（月） 第10回教育委員会定例会
- 10月25日（水） 教育委員定例学校訪問
- 10月29日（日） 第12回武蔵村山市小中学生百人一首大会 開会式・閉会式
- 11月3日（金・祝） 自治功労者・一般表彰者表彰式
- 11月 8日（水） 東京都市教育長会
- 11月11日（土） 第54回市民文化祭 開会式
- 11月17日（金） 第11回教育委員会定例会

- 11月18日（土） 令和5年度少年少女スポーツ大会第40回少年少女サッカー大会 開会式・閉会式
- 11月22日（水） 小中一貫校大南学園第七小学校開校50周年記念式典
- 12月10日（日） 第50回武蔵村山市民駅伝競走大会
- 12月15日（金） 第12回教育委員会定例会
- 12月28日（木） 令和5年仕事納め式

教育委員会提出議案（9月～11月）

提出議案8件（うち可決された議案8件）

主な可決議案

・武蔵村山市立学校の令和6年度入学式及び卒業証書授与式の日程について

詳しくは、市ホームページ（HP：1000824）をご覧ください。

令和6年1月～3月 主な教育委員会関係事業予定

事業名	開催日	場所	対象者等	問合せ先
令和6年「20歳を祝う会」	1/8（月・祝）	さくらホール（市民会館）	平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの市民等	文化振興課
第26回生涯学習フェスティバル	3/3（日）	さくらホール（市民会館）市役所市民駐車場	市民	文化振興課

「教育むさしむらやま」へのご意見・ご感想をお寄せください。

